

大学番号 私立143

注1

設置年度 令和 3年度

計画の区分：大学の収容定員に係る学則変更

認可

新潟医療福祉大学 健康科学部 健康スポーツ学科

注2

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人新潟総合学園

令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 企画調整部企画課

職名・氏名	サトウ ユウヤ 佐藤 裕也
電話番号	025-257-4467
（夜間）	025-257-4467
F A X	025-250-0751
e-mail	kikaku@nuhw.ac.jp

- (注) 1 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。
- 2 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて旧名称を記載してください。
- 例） ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 既設大学等の状況	3
3. 附帯事項等に対する履行状況等	4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人新潟総合学園

(2) 大学名

新潟医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒950-3198

新潟県新潟市北区島見町1398番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イケダ ヒロム) 池田 弘 (平成13年4月)		
学長	(ニシザワ マサトヨ) 西澤 正豊 (令和2年4月)		
学部長	(ニシハラ ヤスユキ) 西原 康行 (令和2年4月)		
学科長等	(ニシハラ ヤスユキ) 西原 康行 (平成28年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
- ・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画								定員変更年度	学生募集の停 止について	備 考
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員					
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後				
健康科学部 健康スポーツ学科 学士 (健康スポーツ学)	4	200	250	5	5	810	1010	令和2			
区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	250人 250 () []	1.03倍	—							
志願者数	() []	500 () []									
受験者数	() []	466 () []									
合格者数	() []	366 () []									
B 入学者数	() []	258 () []									
入学定員超過率 B/A							1.03				

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください
(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位
(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表
を追加してください。
 - ・ 様式は、令和2年度定員変更の4年制の学科の場合ですが、変更年度・修業年限に合わせて
作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで
記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択すると
ともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 - ・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行って
いる場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には
「-」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入して
ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる
「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)
及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を
記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている
場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入して
ください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**して
ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限における入学定員超過率の平均を記入してください。
なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、
報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

2. 既設大学等の状況

大学 の 名 称		新潟医療福祉大学										—	平均入学定員超過率 (2倍以上の学科数)	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (40期間の学科のみ)	開設年度			
					H30年度	H31年度	R2年度	R3年度						
	年	人	年次人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度			
リハビリテーション学部	4	250	—	1000	1.08	1.06	1.10	1.10	1.08	—	平成30			
理学療法学科	4	120	—	480	1.13	1.12	1.12	1.16	1.12	—	平成30			
作業療法学科	4	50	—	200	1.00	0.98	1.00	1.02	0.99	—	平成30			
言語聴覚学科	4	40	—	160	1.05	1.07	1.12	1.00	1.08	—	平成30			
義肢装具自立支援学科	4	40	—	160	1.05	0.97	1.12	1.12	1.04	—	平成30			
医療技術学部	4	295	—	1180	1.00	0.97	1.00	1.02	0.99	—	平成13			
理学療法学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成13	平成30年度より 学生募集停止		
作業療法学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成13	平成30年度より 学生募集停止		
言語聴覚学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成13	平成30年度より 学生募集停止		
義肢装具自立支援学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成19	平成30年度より 学生募集停止		
臨床技術学科	4	100	—	400	0.94	1.00	1.00	1.03	0.99	—	平成23	平成30年度より 定員変更 (20)		
視機能科学科	4	50	—	200	1.00	0.96	1.04	1.02	1.00	—	平成26			
救急救命学科	4	55	—	220	1.00	1.00	1.00	0.98	0.99	—	平成29			
診療放射線学科	4	90	—	360	1.00	1.00	1.00	1.05	1.01	—	平成30			
健康科学部	4	290	3年次 ⁵	1170	1.05	1.10	1.09	1.04	1.07	—	平成19			
健康栄養学科	4	40	—	160	1.07	1.07	1.07	1.10	1.07	—	平成19			
健康スポーツ学科	4	250	3年次 ⁵	1010	1.04	1.10	1.09	1.03	1.06	—	平成19			
看護学科	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	平成19	平成30年度より 学生募集停止		
看護学部	4	107	3年次 ³	434	1.00	1.00	1.00	1.03	1.00	—	平成30			
看護学科	4	107	3年次 ³	434	1.00	1.00	1.00	1.03	1.00	—	平成30			
社会福祉学部	4	120	3年次 ⁵	490	1.12	1.08	1.04	0.92	1.04	—	平成13			
社会福祉学科	4	120	3年次 ⁵	490	1.12	1.08	1.04	0.92	1.04	—	平成13			
医療経営管理学部	4	80	3年次 ⁵	330	1.10	1.11	1.07	1.05	1.08	—	平成22			
医療情報管理学科	4	80	3年次 ⁵	330	1.10	1.11	1.07	1.05	1.08	—	平成22			
大学全体	4	1,092	18	4,404	1.04	1.05	1.05	1.03	1.04	—	—			
医療福祉学研究科	2 3	40 10	—	80 30	—	—	1.02 1.20	1.15 1.20	1.08 1.20	—	平成17			
保健学専攻 (M)	2	21	—	42	—	—	1.14	1.14	1.09	—	平成17			
社会福祉学専攻 (M)	2	5	—	10	—	—	0.40	0.40	0.40	—	平成17			
健康科学専攻 (M)	2	10	—	20	—	—	1.60	1.60	1.40	—	平成19			
医療情報管理学専攻 (M)	2	4	—	8	—	—	1.00	1.00	1.12	—	平成26			
医療福祉学専攻 (D)	3	10	—	30	—	1.20	1.20	1.20	1.20	—	平成19	平成30年度より 定員変更 (2)		
大学院全体	2 3	40 10	—	110	—	—	1.16	1.16	1.11	—	—			
大学 の 名 称		新潟食料農業大学										—	平均入学定員超過率 (2倍以上の学科数)	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (40期間の学科のみ)	開設年度			
					H30年度	H31年度	R2年度	R3年度						
	年	人	年次人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度			
食料産業学部	4	180	—	720	0.55	0.82	0.86	0.92	0.79	—	平成30			
食料産業学科	4	180	—	720	0.55	0.82	0.86	0.92	0.79	—	平成30			
大学全体	4	180	—	720	0.55	0.82	0.86	0.92	0.79	—	—			
大学 の 名 称		事業創造大学院大学										—	平均入学定員超過率 (2倍以上の学科数)	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	入学定員超過率				平均入学定員超過率	定員変更年度 (40期間の学科のみ)	開設年度			
					H30年度	H31年度	R2年度	R3年度						
	年	人	年次人	人	倍	倍	倍	倍	倍	年度	年度			
事業創造研究科	2	80	—	160	—	—	1.22	0.68	0.95	—	平成18			
事業創造専攻 (M)	2	80	—	160	—	—	1.22	0.68	0.95	—	平成18			
大学全体	2	80	—	160	—	—	1.22	0.68	0.95	—	—			

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ことには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

<看護学部看護学科>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 就任辞退の教員が生じた際には速やかに教員公募を行っている。しかし、教育研究業績や学生指導の熟意等を十分に満たす応募者のみとは限らないため、就任辞退者（助教以上）の欠員が未充足の状態にある。一方、助手の人数は設置計画よりも多く在任しており、助教への昇任を見据えて教育研究能力の向上を図っている。(30)	履行中 今後の教員公募を継続していくが、特に教員体制の強化が必要となる成人看護学、高齢者看護学の各分野の専任教員の補充を今年度は優先する。また、他の分野では、長期的に安定した体制としていくため、60歳未満の比較的若い教員の採用を重視するとともに、大学院における学位取得やFD等を通して教育研究能力を向上していく。(30)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	多くの専任教員が就任辞退又は辞任しているが、原因分析や改善策が十分ではないため、教育研究水準の維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。	指摘事項 (改善) 学科教員は看護職で構成し、相互協力ができる組織体制としてきたが、教員の退職が、2018年度3人、2019年度7人、2020年度7人と増加した。理由については、定年・任期3人、他大学で昇任3人、臨床現場復帰3人、家庭の事情4人、病気等4人などさまざまであった。一方、教員のストレスチェックでは他学科と比べて仕事満足度が低く、業績評価も他学科より低い傾向であること、科研費を獲得できない教員が多いこともモチベーション低下の要因として考えられる。その具体的な改善策として、全学あげての業績評価方法の見直し検討、科研費獲得に向けての体制の更なる整備、また4月より3か月に1度、全学科教員を対象に学科長定期面談を実施し、職場環境の改善提案を受ける等により、各教員との信頼関係を更に強化していく。また、全教員が学生との面談や相談対応を行うアドバイザー制から、教授、准教授が担任、副担任として主として学生対応を行う担任制に変更することで助手・助教の負担軽減と教授・准教授の学生指導責任の明確化を図るなど、教員の仕事満足度を高める諸施策を実施することで、そもそもの辞任者数の減少に繋げていく。 特に精神看護・高齢者看護での退職が目立ったが、今年度から新任の教員が多数着任したことから、今後安定するものと考えている。教員欠員については指導経験のある非常勤で対応したほか、短期的には厚生連との連携を更に深め、相互交流の活発化による強固な教員採用ルートを構築するとともに、中長期的な視点では、教員組織を安定化させるため、卒業生を中心とした若手教員には大学院での学位取得支援をし、教育研究力の向上を図っている。その実績として、学部設置後から現在まで准教授に4名、助教には8名が昇任している。将来構想を見据えて若手教員の学位取得に向けてバックアップを引き続き継続していく。(3)	履行中 高齢者看護学領域の教員体制は整ったが、現在は特に強化が必要な成人看護学と精神看護学の教員補充であり、まずはその点に着手する。他方、そもそもの辞任者数の減少に取り組むにあたり、左記の諸施策に加え、以下施策を推進することで教員定着化を図っていく。 ・厚生連との連携による、実習等での相互理解を通じた教員負担の軽減 ・特に若手教員の福利厚生の充実を図るためキャンパス内にある大学附属こども園の利用推進 ・全学的なメンタルヘルス対策の強化(3)

<医療技術学部救急救命学科>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成29年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	留意事項 高い専門知識を有する専任教員を採用した結果、現在の教員配置になった。平成29年4月に40歳代の助教1名を採用した。今後も中堅・若手専任教員を採用し、年齢構成のバランスを考慮した教員組織を編成していく(29)	履行中 現在、新たに専任教員を採用するため、講師または助教または助手を計3名公募している。
設置計画履行状況調査時 (平成30年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	指摘事項(改善) 平成30年5月7日付で助手2名(ともに20代)の採用が決定している。今後も若手・中堅教員を積極的に採用し、年齢構成のバランスに配慮した教員組織編制を作り上げていく所存である(30)	履行中 年齢構成のバランスのとれた教員組織編制とするために、現在、講師1名、助教または助手2名の公募を行っている。
設置計画履行状況調査時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況調査時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況調査時 (令和3年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	指摘事項(改善) 完成年度を終え、退職年齢を超える教授2名が退職し、今年度は退職年齢を超えた教授1名が採用となった。特に高い専門知識を有する教授の採用が必要であったための退職年齢を超えた教授採用であった。一方で昨年、中堅教員を講師として新規採用し年齢構成のバランスに配慮した教員組織編成に努めた。(3)	履行中 若手研究者を対象として助手・助教の採用を検討していくことと、中堅教員が准教授・教授へと昇任できるように、支援体制の強化に取り組んでいく所存である。(3)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。